

令和5年度 事後評価シート

【事務事業シート（政策的経費）】

1	当初	事項	木質バイオマス利用促進事業費							予算主管課	林業政策課
	事業概要	木質バイオマスの利用促進のため、林地残材等の搬出経費等に対し支援を行うとともに、未利用材の流通システムを構築し、流通コスト等を検証する取組みを推進する。								始期	H18
										終期	R6
	K P I	発電向け不定材木質バイオマス供給量									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		時点・期間	R4年度	時点・期間	R5年度	時点・期間	R6年度	時点・期間		時点・期間	
		現状値	20 千t	目標値	24 千t	目標値	24 千t	目標値	千t	目標値	千t
				実績値	24 千t	実績値	千t	実績値	千t	実績値	千t
				達成率	100.00 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%
	コスト		最終現計予算額	24,730 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	
決算額			23,898 千円	決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円		
5 年 度	要因分析	評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。）									
		総括（事業最終年度の場合、要記入。）									
	見直し方向性	維持	見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等）） 5年度のKPIの実績は目標を達成しており、6年度以降も現状のニーズを踏まえると、KPIは目標を達成すると考えられることから、6年度の執行方法や7年度予算の見直しは想定していない。								
2	当初	事項	森林カーボンオフセット促進事業費							予算主管課	林業政策課
	事業概要	県内におけるカーボンオフセット・クレジットを民間に売り込む機会を創出すると共に、本県からの森林由来によるクレジット発行を促し、排出権取引を活性化させることでカーボンオフセットを促進する。								始期	R5
										終期	R6
	K P I	県内で発行された森林クレジット年間販売量									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		時点・期間	R1~R3年度平均	時点・期間	R5年度	時点・期間	R6年度	時点・期間		時点・期間	
		現状値	65 t-co2	目標値	70 t-co2	目標値	75 t-co2	目標値	t-co2	目標値	t-co2
				実績値	133 t-co2	実績値	t-co2	実績値	t-co2	実績値	t-co2
				達成率	190.00 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%
	コスト		最終現計予算額	3,081 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	
決算額			2,330 千円	決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円		
5 年 度	要因分析	評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。）									
		総括（事業最終年度の場合、要記入。）									
	見直し方向性	維持	見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等）） 5年度のKPIの実績はほぼ想定どおりの成果が出ており、6年度以降も現状のニーズを踏まえるとKPIはそのまま目標を達成すると見込まれることから、6年度の執行方法の見直し等は想定していない。								

3	当初	事項	えひめ森林公園とべもりエリアイベント実施事業費							予算主管課	森林整備課
	事業概要	えひめ森林公園を「とべもり」(3施設)に加えた「とべもりエリア」の4施設が連携して、各種イベントの実施や効果的な広報を行うことにより、「とべもりエリア」の認知度向上及び一体感醸成を図る。								始期	R5
										終期	R8
	K P I	えひめ森林公園の年間来園者数									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		時点・期間	R 3 年度	時点・期間	R5年度	時点・期間	R6年度	時点・期間	R7年度	時点・期間	R8年度
		現状値	6 万人	目標値	12 万人	目標値	13 万人	目標値	14 万人	目標値	15 万人
				実績値	8.7 万人	実績値	万人	実績値	万人	実績値	万人
				達成率	72.50 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%
		コスト	最終現計予算額	9,573 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	
決算額	8,984 千円		決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円			
5 年度	要因分析	評価年度(「達成率100%未満」の場合、要記入。) とべもり+へ加入し、キックオフ等のPRイベント実施や、4施設が連携した戦略的広報により、年間来園者数は前年度対比118%の87,311人となったものの、キャンプ場及び管理棟の改修工事に伴い、令和5年5月中旬から令和6年3月末まで施設利用を停止した影響により、未達成となった。									
		総括(事業最終年度の場合、要記入。)									
	見直し方向性	改善	見直し内容の説明(維持・廃止・改善・大幅見直し(事業組替等)) とべもり+での連携PRやえひめ森林公園の再整備により、新型コロナウイルスの影響で落ち込んだ来園者数が着実に回復していることから、令和6年度当初予算において森林公園関係事項を統合して、目的や対象に応じたイベント及び情報発信を効果的に行っており、7年度以降もとべもり+周遊イベントなど来園者のニーズを踏まえて事業内容の拡充等を検討する。								

4	当初	事項	えひめ森林公園整備事業費							予算主管課	森林整備課
	事業概要	えひめ森林公園を豊富な自然の中で多様な森林体験ができる施設として整備するとともに、情報発信の強化等を通じて誘客促進を図り、森林・林業への理解を深める。								始期	R2
										終期	R6
	K P I	えひめ森林公園の年間入園者数									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		時点・期間	R元年度	時点・期間	R5年度	時点・期間	R6年度	時点・期間	R7年度	時点・期間	R8年度
		現状値	10 万人	目標値	12 万人	目標値	13 万人	目標値	14 万人	目標値	15 万人
				実績値	8.7 万人	実績値	万人	実績値	万人	実績値	万人
				達成率	72.50 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%
		コスト	最終現計予算額	73,427 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	
決算額	72,322 千円		決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円			
5 年度	要因分析	評価年度(「達成率100%未満」の場合、要記入。) 令和5年4月に新木製遊具等の供用を開始するとともに、森林体験イベントやSNS等での積極的なPRにより、年間来園者数は前年度対比118%の87,311人となったものの、キャンプ場及び管理棟の改修工事に伴い、令和5年5月中旬から令和6年3月末まで施設利用を停止した影響により、未達成となった。									
		総括(事業最終年度の場合、要記入。)									
	見直し方向性	改善	見直し内容の説明(維持・廃止・改善・大幅見直し(事業組替等)) えひめ森林公園の再整備やとべもり+での連携PRにより、新型コロナウイルスの影響で落ち込んだ来園者数が着実に回復していることから、令和6年度当初予算において森林公園関係事項を統合して、目的や対象に応じたイベント及び情報発信を効果的に行っており、7年度以降もとべもり+周遊イベントなど来園者のニーズを踏まえて事業内容の拡充等を検討する。								

5	当初	事項	優良種苗確保事業費								予算主管課	森林整備課		
	事業概要	林木の品種改良、種子採取源の整備等による優良種苗の供給を確保するとともに、低コスト造林に資するコンテナ苗やエリートツリー等の利用拡大を図る。									始期	S42		
											終期			
	K P I	球果採取量												
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度			R 6 年 度			R 7 年 度			R 8 年 度	
		時点・期間	R3年度	時点・期間	R5年度	時点・期間	R6年度	時点・期間	R7年度	時点・期間	R8年度			
		現状値	400 リットル	目標値	400 リットル	目標値	400 リットル	目標値	400 リットル	目標値	400 リットル			
				実績値	1197 リットル	実績値	リットル	実績値	リットル	実績値	リットル	実績値	リットル	
				達成率	299.25 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%	達成率	%	
		コスト		最終現計予算額	40,070 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円			
決算額	39,639 千円			決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円			
5年度	要因分析	評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。）												
		総括（事業最終年度の場合、要記入。）												
	見直し方向性	維持	見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等）） 5年度のKPIの実績は目標値以上の成果が出たが、気象など自然環境により豊凶の年があることから、6年度以降も現状の二ーズを踏まえ継続していくこととし、6年度の執行方法や7年度予算の見直しは想定していない。											

6	当初	事項	全国植樹祭開催準備費								予算主管課	森林整備課		
	事業概要	令和8年春に開催予定の第76回全国植樹祭について、式典や植樹行事、広報などの具体的な内容を検討するため、実行委員会等を開催する。									始期	R4		
											終期	R8		
	K P I	森とふれあう活動に参加した年間人数												
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度			R 6 年 度			R 7 年 度			R 8 年 度	
		時点・期間	R3年度	時点・期間	R5年度	時点・期間	R6年度	時点・期間	R7年度	時点・期間	R8年度			
		現状値	3.7 万人	目標値	3.9 万人	目標値	4 万人	目標値	4.1 万人	目標値	4.5 万人			
				実績値	4.4 万人	実績値	万人	実績値	万人	実績値	万人	実績値	万人	
				達成率	112.82 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%	達成率	%	
		コスト		最終現計予算額	15,194 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円			
決算額	15,128 千円			決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円			
5年度	要因分析	評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。）												
		総括（事業最終年度の場合、要記入。）												
	見直し方向性	維持	見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等）） 4年度のKPIの実績が、8年度の最終目標値を超えたことから、6年度予算からKPIの目標値を上方修正したところであるが、8年春の全国植樹祭開催に向け、6年度の執行方法や7年度予算の見直しは想定していない。											

7	当初	事項	新たな森林管理システム推進事業費						予算主管課	森林整備課	
	事業概要	森林資源の適正な管理を推進するため、新たな森林管理システムの普及・指導及び最先端技術を活用した森林管理支援システムの運営等を行う。							始期	R1	
									終期		
	K P I	市町または所有者等により適正管理されている民有林（人工林）割合									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		時点・期間	R3年度	時点・期間	R5年度	時点・期間	R6年度	時点・期間	R7年度	時点・期間	R8年度
		現状値	22 %	目標値	24 %	目標値	25 %	目標値	26 %	目標値	27 %
				実績値	20 %	実績値	%	実績値	%	実績値	%
				達成率	83.33 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%
		コスト		最終現計予算額	47,043 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円
決算額	40,879 千円			決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円		
5年度	要因分析	<p>評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。）</p> <p>KPI算出根拠である「森林経営計画策定面積」のうち、森林法に基づく、農林水産大臣認定（12,124ha）の森林経営計画（1件）が令和6年3月1日に取り消されたことにより目標数字が減少したため、未達成となった。該当事業体は、森林経営計画の認定を再度請求し、令和6年5月31日に認定（12,286ha）されたため、令和6年度には影響しない。</p> <p>総括（事業最終年度の場合、要記入。）</p>									
	見直し方向性	維持	<p>見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等））</p> <p>5年度のKPIの実績は前倒して意向調査を実施したため向上しているが、6年度以降も現状の二ーズを踏まえると、KPIは目標達成すると考えられることから、6年度の執行方法や7年度予算の見直しは想定していない。</p>								

8	当初	事項	森林・山村多面的機能発揮対策支援事業費						予算主管課	森林整備課	
	事業概要	地域住民や森林所有者等が協力して行う「里山保全」「竹林整備」「森林資源の利活用」等の森林・山村が有する多面的機能の発揮に資する活動へ支援を行う。							始期	R4	
									終期	R8	
	K P I	本補助により整備されている里山面積									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		時点・期間	R4年度	時点・期間	R5年度	時点・期間	R6年度	時点・期間	R7年度	時点・期間	R8年度
		現状値	31 ha	目標値	31 ha	目標値	31 ha	目標値	31 ha	目標値	31 ha
				実績値	27 ha	実績値	ha	実績値	ha	実績値	ha
				達成率	87.10 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%
		コスト		最終現計予算額	4,300 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円
決算額	1,939 千円			決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円		
5年度	要因分析	<p>評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。）</p> <p>要望額より、国費の配分が少なかったため、未達成となった。（地域協議会（公益財団法人愛媛の森林基金）経由で、国からの交付金に加え、県及び市町の補助金を交付する事業）</p> <p>総括（事業最終年度の場合、要記入。）</p>									
	見直し方向性	維持	<p>見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等））</p> <p>5年度のKPIの実績は目標達成しなかったが、6年度以降も現状の二ーズを踏まえるとKPIは目標達成すると考えられることから、6年度の執行方法や7年度予算の見直しは想定していない。</p>								

9	当初	事項	森林病虫獣害対策事業費							予算主管課	森林整備課	
	事業概要	県木である松を守るため、県民参加による保全活動を推進するとともに、重要な松林を対象に防除を実施するほか、ニホンジカの森林被害対策を行う。								始期	S48	
										終期		
	K P I	松くい虫の森林被害面積(前年並みに抑制)										
		KPI種別	下がるが良い指標	R 5 年 度			R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		時点・期間	R3年度	時点・期間	R5年度	時点・期間	R6年度	時点・期間	R7年度	時点・期間	R8年度	
		現状値	1169 ha	目標値	1169 ha	目標値	698 ha	目標値	450 ha	目標値	450 ha	
				実績値	450 ha	実績値	ha	実績値	ha	実績値	ha	
				達成率	259.78 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%	
		コスト		最終現計予算額	17,808 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	
決算額	13,221 千円			決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円			
5年度	要因分析	評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。）										
		総括（事業最終年度の場合、要記入。）										
	見直し方向性	維持	見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等）） 5年度のKPI実績は防除による被害抑制により前年度を下回る成果が出ており、6年度以降も現状のニーズを踏まえると、KPIは目標達成できると考えられることから、6年度の執行方法や7年度予算の見直しは想定していない。									

10	当初	事項	県民と森との交流促進事業費							予算主管課	森林整備課	
	事業概要	森林と共生する文化の創造を目的として、県民参加型の活動を促進するとともに、「えひめ山の日の集い」の開催等により、森林への理解を促進する。								始期	H17	
										終期	R6	
	K P I	森林環境税による森林関係事業の県民参加人数										
		KPI種別	上がるが良い指標	R 5 年 度			R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		時点・期間	R3年度	時点・期間	R5年度	時点・期間	R6年度	時点・期間		時点・期間		
		現状値	13026 人	目標値	15000 人	目標値	15000 人	目標値	人	目標値	人	
				実績値	14183 人	実績値	人	実績値	人	実績値	人	
				達成率	94.55 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%	
		コスト		最終現計予算額	21,738 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	
決算額	19,403 千円			決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円			
5年度	要因分析	評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。） えひめ山の日の集いや少年自然愛護活動事業、提供フィールドでの森林ボランティア活動など、前年度から着実に参加人数が増加しているが、目標は未達成となった。										
		総括（事業最終年度の場合、要記入。）										
	見直し方向性	改善	見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等）） 5年度のKPIの実績はほぼ想定どおりの成果が出ており、6年度もKPIの目標に近づけると考えられるが、7年度以降は県森林環境税の導入検討における県民ニーズを踏まえて事業内容の拡充等を検討する。									

11 当初	事項	県民参加の森林づくり公募事業費							予算主管課	森林整備課	
	事業概要	森林環境税の目指す「森林環境の保全」と「森林と共生する文化の創造」を県民と一体となつて推進するため、県民の豊かな発想や自発的な活動に対して補助する。							始期	H17	
									終期	R6	
	K P I	森林づくりの公募事業への参加者数									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		時点・期間	R3年度	時点・期間	R5年度	時点・期間	R6年度	時点・期間	R7年度	時点・期間	R8年度
		現状値	5771 人	目標値	15000 人	目標値	15000 人	目標値	人	目標値	人
				実績値	6304 人	実績値	人	実績値	人	実績値	人
				達成率	42.03 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%
		コスト	最終現計予算額	15,000 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	
	決算額		12,067 千円	決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円		
5 年度	要因分析	<p>評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。）</p> <p>公募事業は、県民自らが企画、立案、実行する活動への支援のため、各団体等の活動内容によって参加人数が大きく左右される状況がある。令和5年度は、前年度と比較して普及啓発活動（広く人を集めるイベント等）が減少し、森林整備等の森林ボランティア活動が多く実施されたため、未達成となった。</p> <p>総括（事業最終年度の場合、要記入。）</p>									
	見直し方向性	改善	<p>見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等））</p> <p>5年度のKPIの実績はほぼ想定どおりの成果が出ており、現状のニーズを踏まえると、6年度はさらにKPIの目標に近づけると考えられるが、7年度は全国植樹祭の開催にあわせて、県民参加の森づくりを一層推進することで更なる向上が図られるよう事業内容の拡充を検討する。</p>								

12月 補正 後 (追 加)	事項	花粉の少ない森づくり事業費							予算主管課	森林整備課	
	事業概要	花粉症が社会問題となっていることから、国の花粉症解決に向けた緊急総合対策に対応するため、花粉発生源の伐採、植替えや花粉の少ない苗木の生産拡大等について支援する。							始期	R5	
									終期		
	K P I	スギ人工林等の植替え面積									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		時点・期間	R4年度	時点・期間	R5年度	時点・期間	R6年度	時点・期間	R7年度	時点・期間	R8年度
		現状値	65 ha	目標値	80 ha	目標値	80 ha	目標値	80 ha	目標値	80 ha
				実績値	0 ha	実績値	ha	実績値	ha	実績値	ha
				達成率	0.00 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%
		コスト	最終現計予算額	65,742 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	
	決算額		0 千円	決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円		
5 年度	要因分析	<p>評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。）</p> <p>令和5年度の国補正予算に対応し、12月補正で事業に取り組んだが、年度内までの事業期間が短く、森林所有者の同意取り付け等に日数を要したことから、次年度に繰り越すこととなった。</p> <p>総括（事業最終年度の場合、要記入。）</p>									
	見直し方向性	維持	<p>見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等））</p> <p>5年度は結果を出すことができなかったが、6年度以降も現状のニーズを踏まえると、KPIは目標達成すると考えられることから、6年度の執行方法や7年度予算の見直しは想定していない。</p>								

13	2月補正	事項	造林事業費							予算主管課	森林整備課
	事業概要	森林が持つ多面的機能を発揮させるため、森林の適正な管理に寄与する森林施業等に対し支援を行う。								始期	S21
										終期	
	K P I	補助による民有林森林整備実施面積									
		KPI種別	上がると良い指標	R5年度		R6年度		R7年度		R8年度	
		時点・期間	R4年度	時点・期間	R5年度	時点・期間	R6年度	時点・期間	R7年度	時点・期間	R8年度
		現状値	1640 ha	目標値	4098 ha	目標値	2000 ha	目標値	2000 ha	目標値	2000 ha
				実績値	1505 ha	実績値	ha	実績値	ha	実績値	ha
				達成率	36.73 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%
		コスト		最終現計予算額	989,508 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円
決算額	986,757 千円			決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円		
5年度	要因分析	<p>評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。）</p> <p>令和5年度の国補正予算に対応し、12月補正で事業に取り組んだが、森林整備の着手にあたって必要となる森林境界の確定などに日数を要したことから、大半を次年度に繰り越すこととなった。</p> <p>総括（事業最終年度の場合、要記入。）</p>									
	見直し方向性	改善	<p>見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等））</p> <p>細施策KGIとの相関は高いと考えるが、繰越が多かったため、5年度の目標達成率が低調であったことから、6年度の執行から、林業事業体に対する事業活用の周知と掘り起こしを本庁と出先機関が連携する改善を図り、さらなる成果の向上につなげる。</p>								

14	当初	事項	ふるさと・水と土ふれあい事業費							予算主管課	農地整備課
	事業概要	中山間ふるさと保全対策基金の運用益等により、住民活動を推進する人材の育成や保全活動等の促進に向けた支援を行う。								始期	R2
										終期	
	K P I	ふるさと保全計画策定割合									
		KPI種別	上がると良い指標	R5年度		R6年度		R7年度		R8年度	
		時点・期間	R2~R4年度	時点・期間	R2~R5年度	時点・期間	R2~R6年度	時点・期間	R2~R7年度	時点・期間	R2~R8年度
		現状値	0.3 %	目標値	4 %	目標値	6 %	目標値	8 %	目標値	10 %
				実績値	4 %	実績値	%	実績値	%	実績値	%
				達成率	100.00 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%
		コスト		最終現計予算額	35,000 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円
決算額	30,435 千円			決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円		
5年度	要因分析	<p>評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。）</p> <p>総括（事業最終年度の場合、要記入。）</p>									
	見直し方向性	維持	<p>見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等））</p> <p>5年度のKPIの実績はほぼ想定どおりの成果が出ており、6年度以降も現状のニーズを踏まえると、KPIは目標達成すると考えられることから、6年度の執行方法や7年度予算の見直しは想定していない</p>								

15	2月 補正	事項	中山間地域等直接支払交付金事業費						予算主管課	農地整備課	
		事業概要	中山間地域等の多面的機能を確保するためには、農業生産活動等を通じて耕作放棄の発生を防止する必要があるため、農業生産条件の不利性を直接的に補正する直接支払を実施する。						始期	H12	
									終期		
	K P I	中山間地域等直接支払交付金活用による生産・保全面積									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		時点・期間	R4年度	時点・期間	R5年度	時点・期間	R6年度	時点・期間	R7年度	時点・期間	R8年度
		現状値	10628 ha	目標値	11600 ha	目標値	11600 ha	目標値	11600 ha	目標値	11600 ha
				実績値	10664 ha	実績値	ha	実績値	ha	実績値	ha
				達成率	91.93 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%
		コスト		最終現計予算額	1,143,753 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円
決算額	1,141,774 千円			決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円		
5 年 度	要因分析	<p>評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。）</p> <p>活動継続を見送った協定への活動再開、新規取り組みへの啓発・促進等を行った結果、令和5年度は6協定が活動を開始し、36ha増となったものの、農業者の高齢化や人材不足等を理由に大幅な面積拡大には至らず、未達成となった。</p> <p>総括（事業最終年度の場合、要記入。）</p>									
	見直し方向性	改善	<p>見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等））</p> <p>中山間地域の高齢化や担い手不足等が急速に進む現状を踏まえると、6年度も同様の状況が見込まれるが、次期6期対策に向け、6年度執行において、各地域で策定する地域計画等とも連携しながら新規取組や活動継続の啓発・推進を行い、成果の向上につなげる。</p>								

16	2月 補正	事項	農村環境保全向上活動支援事業費						予算主管課	農地整備課	
		事業概要	農村地域の多面的機能の維持発揮のため、農業者等による組織が取り組む水路の泥上げなど多面的機能を支える共同活動や、水路、農道の補修など、地域資源の資質向上を図る共同活動について、交付金による支援を実施する。						始期	H19	
									終期		
	K P I	多面的機能支払交付金活用により保全されている面積									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		時点・期間	R5年度見込	時点・期間	R5年度	時点・期間	R6年度	時点・期間	R7年度	時点・期間	R8年度
		現状値	14800 ha	目標値	16800 ha	目標値	16800 ha	目標値	16800 ha	目標値	16800 ha
				実績値	14800 ha	実績値	ha	実績値	ha	実績値	ha
				達成率	88.10 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%
		コスト		最終現計予算額	705,431 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円
決算額	700,410 千円			決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円		
5 年 度	要因分析	<p>評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。）</p> <p>新たに活動を開始又は再開した組織がある一方で、農業者の高齢化や人材不足等を理由に活動の継続を断念した組織があり、5年度は11ha増となったものの、目標面積には至らず、未達成となった。</p> <p>総括（事業最終年度の場合、要記入。）</p>									
	見直し方向性	改善	<p>見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等））</p> <p>農業者の高齢化や人材不足等を理由に次の5年間の活動を断念する組織が増えている現状を踏まえると、6年度も同様の状況が見込まれるが、6年度執行において、活動組織の広域化等取組継続に向けた啓発活動や支援等を行い、成果の向上につなげる。</p>								

17 当初	事項	農業集落排水事業費								予算主管課	農地整備課
	事業概要	老朽化した農業集落排水施設の機能診断や既存施設の改修等へ支援を行う								始期	R3
										終期	
	K P I	農業集落排水維持管理適正化計画策定完了率（累計）									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		時点・期間	R3~R4年度	時点・期間	R3~R5年度	時点・期間	R3~R6年度	時点・期間	R3~R7年度	時点・期間	R3~R8年度
		現状値	14 %	目標値	14 %	目標値	26 %	目標値	49 %	目標値	58 %
				実績値	14 %	実績値	%	実績値	%	実績値	%
				達成率	100.00 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%
		コスト		最終現計予算額	15,125 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円
	決算額			11,246 千円	決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円	
	5 年 度	要因分析	評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。）								
			総括（事業最終年度の場合、要記入。）								
		見直し方向性	維持	見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等）） 5年度のKPIの実績はほぼ想定どおりの成果が出ており、6年度以降も現状のニーズを踏まえると、KPIは目標達成すると考えられることから、6年度の執行方法や7年度予算の見直しは想定していない							